

質問・要望書

長浜市の避難対象地域で戸別訪問をしてきました(約 7,000 世帯、対象地域の 75%)

戸別訪問で聴いた住民の皆さんの声を基に 美浜原発 3 号の運転再開に反対するよう強く求めます

滋賀県知事 三日月大造 様

日頃から県民の安全と、琵琶湖を守るためにご尽力いただき感謝しています。

関西電力は、当初の予定を 2 か月早めて、8 月に老朽原発美浜 3 号の運転を再開しようとしています。この運転再開に反対を表明され、それを実効力あるものとするために、関電への申入れ等万全の取り組みを実行していただくよう強く要望します。

長浜市の北部の避難対象地域には、9,390 世帯、約 24,200 名の住民が暮らしています。

私たちは、「湖北原発ゼロの会」の皆さんの協力を得て、昨年 10 月に美浜 3 号が運転を停止した翌日の 10 月 24 日から、長浜市の避難対象地域で戸別訪問を行ってきました。一軒一軒「こんにちは」と玄関先で声をかけ、チラシを渡しながら住民の皆さんと話をしてきました。今年 7 月までに延べ 15 回、7,000 世帯を超え、避難対象地域の 75%を回ってきました。

住民の皆さんからは、「避難のことを聞きたかった。何も知らない」、「福島事故を思うと原発だけは反対」、「寝たきりの家族がいるので、避難などできない」「滋賀県は被害だけ。再稼働の決定権がないのはおかしい」、「琵琶湖や余呉川が汚染されたら生活できない。米も作れない」等々の多くの反対や不安の声を聴いてきました。運転に賛成する声はほんのわずかでした(別紙「参考資料」参照)。

他方、関電の原発では事故が頻発しています。高浜原発 3・4 号では、6 回も立て続けに蒸気発生器細管の損傷事故が起きています。大飯原発 4 号では 6 月に、原子炉の起動・停止時に使うポンプの配管に穴があき、冷却水が漏れていました。「1993 年の営業運転開始以降、この配管は一度も交換していない」と報じられています。このような関電の安全性軽視の姿勢では、取り返しのつかない事故が起こるのではと強く危惧します。とりわけ 40 年超えの老朽美浜 3 号では、圧力容器は取り替えることはできず、電気ケーブルの老劣化も把握できず、配管も全てを取り替えているわけではありません。

戸別訪問で聴いた住民の皆さんの声を伝えながら、質問と要望をお送りします。ご回答ください。

質 問 事 項

1. 戸別訪問で聴いた住民の皆さんの声

私たちは、「湖北原発ゼロの会」の協力を得て、長浜市の避難対象地域で戸別訪問を行い、住民の皆さんの声を聴いてきました。昨年 10 月から今年 7 月までの間に、延べ 15 回、7,000 世帯を超え(7,089 世帯)、対象地域の 75%を回ってきました(別紙「参考資料」参照)。

避難先については、大多数の住民が「知らなかった」「聞いていない」と答えられています。

また、福島原発事故の惨事から「原発の運転だけは反対」、「体が悪いので避難はできない」「事故になれば琵琶湖は避難できず汚染される」「余呉川も汚染され、コメ作りもできない」「コロナ禍で避難できるのか」「原発が攻撃されたらどうすることもできない。自衛隊でも防げない」等々の反対や切実な不安の声を聴いてきました。2020年の住民説明会は参加者が限られ、住民の意見を聞いたとは言えない状況であることが、戸別訪問でもはっきりしました。

美浜3号の運転再開については、住民の切実な声や意見をくみ上げる取り組みが必要ではないでしょうか？

2. 長浜市民の避難所公表について

長浜市北部は、美浜原発3号に関して初めて事故時の避難対象区域に入りました。しかし、県内避難先については、下図のように避難先市のみを公表し、避難所は公表していません。県外避難先の大阪府については、公園等の「拠点避難所」しか公表していません。

高島市や福井県及び京都府の避難対象地域では、以前から避難所名と住民のマッチングが公表されています。昨年5月14日の県への申入れでも、公表するよう求めていました。

戸別訪問では、避難先の市についてさえも、ほとんどの住民は「知らない」と答えていました。どの避難所に行くのかは防災の基本的情報です。長浜市民の地区ごとの避難所名を公表すべきではないですか？

旧市町名	小学校区	世帯数(人口)	県内避難先	避難所名	県外避難先	避難所名
西浅井町	塩津、永原	1,401 (3,680人)	東近江市	?	大阪市 長居公園	?
余呉町	余呉	1,202 (2,866人)			岸和田市等	
木之本町	杉野、高時、 伊香具の一部	2,777 (6,512人)	甲賀市		泉大津市等	
	木之本、伊香具の一部				堺市等	
高月町	高月、七郷	2,312 (6,342人)	草津市		富田林市等	
	富永、古保利	1,143 (3,209人)			東大阪市等	
湖北町	小谷、速水	555 (1,589人)			大阪市 長居公園	
美浜原発事故時 避難住民 合計		9,390 (24,198人)	(滋賀県「地域防災計画 資料編」2022.5.11等より)			

3. 美浜3号の運転再開の2か月前倒しについて

(1) 美浜3号の8月運転再開予定について

関西電力は6月10日に、美浜3号の運転再開について、当初の予定だった10月から2か月早め、8月に運転再開すると発表しました(送電は8月12日予定)。その理由として関電は、特重施設(テロ対策等対処施設)の工事が、高浜3・4号の経験から工期短縮が可能になり、7月下旬に施設を運用開始できるためとしています。2か月もの工期短縮で、労災事故や手抜き工事が心配されます。

関電から、8月に運転再開を前倒しする事について説明を受けましたか？工期短縮の内容を示してください。

(2) 夏場の電力需給について

経産省が6月に発表した「2022年度の電力需給に関する総合対策」は、「10年に一度の猛暑を想定」したのですが、北海道・沖縄以外の地域の8月供給予備率は4.4%です。美浜3号が動かなくても、夏場の電力は足りています。

8月に美浜3号を運転する必要はないのではないですか？

4. 関電の原発で頻発している事故について

関電の原発では、以下のように事故が頻発しています。高浜3号では、蒸気発生器細管の損傷については原因を特定することなく、また、蒸気発生器に給水するポンプ（タービン動補助給水ポンプ）で油漏れが起きましたが、わずか1日起動を延期しただけで、7月24日に原子炉の起動を強行しました。大飯4号の配管穴あき事故では、29年間配管を取り替えておらず、その間の検査はどうなっていたのか不明なままです。それにも関わらず、7月15日に原子炉を起動し運転を再開しました。

このように、安全性を軽視し運転最優先の関電の姿勢は許されるものではありません。

（1）高浜原発3・4号で立て続けに6回も起きている蒸気発生器細管の損傷

高浜原発3・4号では、蒸気発生器細管の損傷が立て続けに6回も起きています。異常としかいようがありません。7月の関電の発表では、高浜4号で12本もの細管に減肉がおきており、最大で細管の厚みは0.7mmまでになっていました。細管に穴があげば、高温高圧（157気圧・約320℃）の一次冷却水が2次系に噴出し、冷却水喪失から炉心溶融の重大事故に至る危険があります。関電は、当初は「異物混入」が原因としていましたが、立て続けに起きる事故で現在は「スケール」が原因としています。しかし、その証拠は示されていません。

滋賀県は以前には「異物を見つけるまで運転再開は許さない」と関電に厳しい対応をとってきました。例えば、6月に明らかになった高浜4号の細管減肉について、関電にどのような対応をとられましたか？

（2）大飯原発4号での配管穴あき事故

関電は6月27日に、大飯原発4号で、原子炉の起動・停止時に使う2次系主給水ポンプの配管に穴があき、冷却水が漏れていたと発表しました。そして「1993年の営業運転開始以降、この配管は一度も交換していない」と報じられています（6月28日福井新聞）。定期検査で配管の厚みを測定し、基準以下なら取替や補修するのが当たり前です。しかし、「漏れてから取替」というのは、経済性最優先で、安全性軽視もはなはだしいものです。

この配管について、29年の間に点検を実施していたのか等を関電に問いましたか？

要 望 事 項

1. 美浜原発3号の運転再開に関して、長浜市民・県民の意見をくみ上げる取り組みを早急に実施すること。
2. 長浜市民の避難先について、地区ごとの避難所名を早急に公表すること。
3. 8月の美浜原発3号の運転再開に反対を表明すること。その表明を実効力あるものとするために、関電への申入れ等万全の取り組みを実施すること。

2022年7月29日

避難計画を案ずる関西連絡会



(連絡先団体：グリーン・アクション/ 原発なしで暮らしたい丹波の会/ 脱原発はりまアクション/
原発防災を考える兵庫の会/ 美浜の会/ 避難計画を考える滋賀の会)

この件の連絡先：避難計画を考える滋賀の会